



赤十字奉仕団支部委員会副委員長  
支部指導講師

岡部 文尋さん



◆赤十字に関わったきっかけ◆

当時教師をしていた小学校が赤十字の加盟校で、トレーニングセンターに行ったことがきっかけです。最初は、赤十字について何も知らなかったが、トレーニングセンターに参加したことがきっかけで、そこから赤十字とは何かを知り、それ以降60年、赤十字に関わっています。トレーニングセンターへ参加して、青少年赤十字の、主体性を育むための「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を知りました。当時の子どもたちは、教師から言われたことは行すが、自分から進んで何かをすることはしない子どもが多かったため、自ら進んで行動させる、この態度目標を利用した、学級経営を行いました。

他にも、実践目標には、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つがあります。その当時、学校教育には国際理解教育というものがなかったが、赤十字にあるということを知り、これを子どもたちに行いたいと思って始めてみたら、赤十字には、私が大切にしている「人道」という原則を掲げていることを知り、赤十字の考えに共感し、抜けられなくなりました。

★指導講師としての活動内容★

今は、支部指導講師として奉仕団研修の講師を行っています。青少年赤十字の「気づき・考え・実行する」という態度目標を取り入れた研修会を昨年度から実施しています。内容としては、研修で必要な資料や情報は、ホワイトボードのみでお知らせを行う、また、研修のプログラムに「フリータイム」を設け、主体となって研修会を行える内容にしています。フリータイムには何を行っても構いません。コーヒータ임을設け参加者同士でカフェを開く、宿泊研修の時は、朝からラジオ体操への参加を呼び掛けている方もいました。こうしたことで、参加者が自ら考えて実行する研修にしています。

もちろん、赤十字の基本原則についての講義も行っています。元々自分の中で大切だと思っていた「人道」、そして赤十字の1番基本である「人道」を参加者の前で話すことができるのがとても嬉しく感じています。

♥今まで行っていたこと♥

昔は、青少年赤十字全国指導者協議会会長を務めていたことがあります。マンネリ化している会議内容で、今までは課題を発表している内容だったが、“なぜ”できなかつたのかを話し合う会議に方向転換を行ったり、学級経営にJRCを活かすように提言を行いました。

